

ヒヤリ・ハット メモ

山域・山名

発生日 年 月 日()

報告日 年 月 日()

報告者

(リーダーはヒヤリ・ハットが起きたら報告し事故防止に役立てましょう、このメモは提出不要です。)

このメモは保安係が、下山後参加者から聞き取って記入し、リーダーに渡してください。

〈性別〉 男()人 女()人 合計()人 合計()件
〈年代〉* 40代()人 50代()人 60代()人 70代()人 80代()人
*複数者の場合は()内に男女別に人数を記入
〈出来事〉 (該当するものに○をつける)
A.転倒・滑落 B.落石 C.道迷い D.一時行方不明 E.体調不良
F.足つり G.装備不備・不具合 H.虫さされ I.持病の発症 J.行動・下山遅れ
K.渡渉失敗 L.登攀中のインシデント** M. その他 **事故などの危難の発生する恐れのある事態
〈考えられる要因〉
〈不足していたもの〉 a.知識・経験 b.技術 c.体力 d.体調管理 e.リーダーの指導
f.注意 g.確認 o.睡眠
〈その他〉 h.コース選定の誤り i.焦りがあった j.忘れた・思い込み k.よそ見した
l.おしゃべり歩行 m.ながら歩行 n.その他
〈上記以外のヒヤリ・ハット、登攀中のインシデントの具体的な内容など〉
〈リーダー・参加者の意見、提言など〉

※ リーダーはセルフチェックして下さい。

- 無理のない計画 山選び 難易度 時間・スケジュール ペース配分 装備 エスケープルート
- 下り道での事故防止の声掛け、下り道でのスピード調整
- 下山口30分前の休憩又は注意喚起
- 緊急時に備えたファーストエイドキット・レスキュー装備
- 参加者把握 コンディション 休憩・睡眠の確保 疲労 体力 病気
- 時間・スケジュールの管理
- 危険に対する意識・認識 リーダー・参加者にあったか
- 難路、危険個所の通過 急坂 階段 木道 やせ尾根 ガレ場 ザレ場 岩場 鎖場
ハシゴ 吊り橋 丸木橋 浮石 よそ見 自分の技量以上 クライミング中のギアの落下
- 装備の忘れ物 ヘッドランプ 食料(予備) ヘルメット
- 危険な野生動物など 虫 スズメバチ ムカデ キノコ
- 悪天候 川・谷の増水 落雷 雪崩 霧・濃霧 風・気温 →防寒着
- アクシデント発生時、道具のない場合の判断・対処法
- 救急法の基礎知識 傷病者へのアプローチ 救急法の優先順位
(心肺蘇生法 ねんざ 骨折 低体温症 熱中症 足つり 凍傷 など)